



春鳴き
雨降る

R18

春……

恋の季節。

なんて

そんな綺麗な
ものはない

ちよっとー？

この季節に
障子全開とか
やめてよね
もオー

ああ
スマンな

恋の季節……

とはまた

よく言った
ものじゃ

私も
他人事ではないか

あつ

かり
あった...

可哀想に

ろろろ

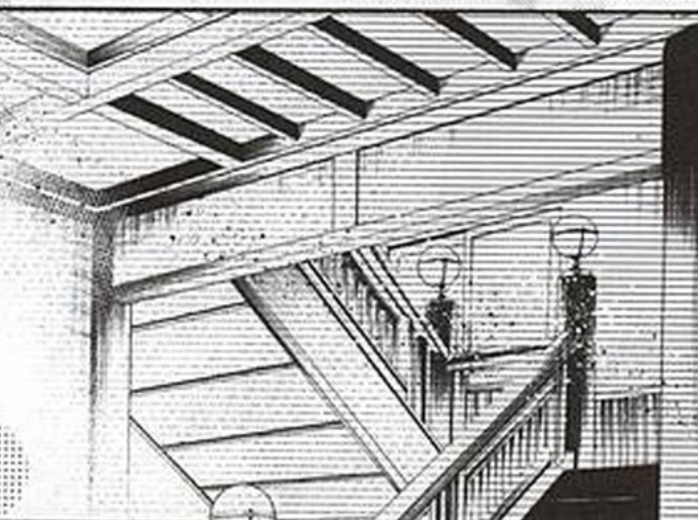
まあ...

花の...

香り...?

くん









発情期……



あやつは
大丈夫だろうか

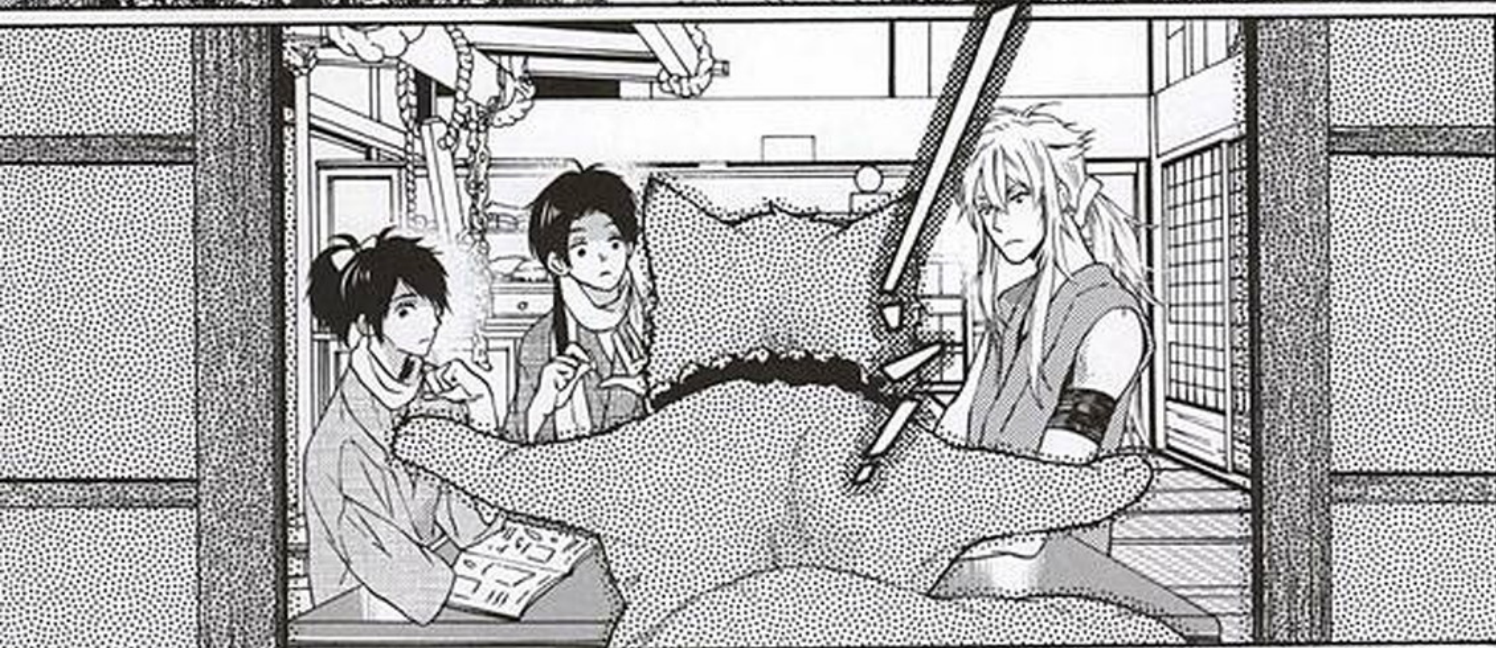


昨日よりも
匂いが
濃くなってる……



鳴狐が
病気ですー！

ズ
パ



病気…

何故 鳴狐の発情に
獣のコイツが
気付かないんじや…

エー…？

部屋にこもって
食欲もないと…

手入れ部屋に
入っても
治らず…

主殿にも
お尋ねした
ところ…

「五月病」では
ないかと……!

主様ツ
!!!

ええ……
それ
大丈夫なの?

よく解ってない

治るの?

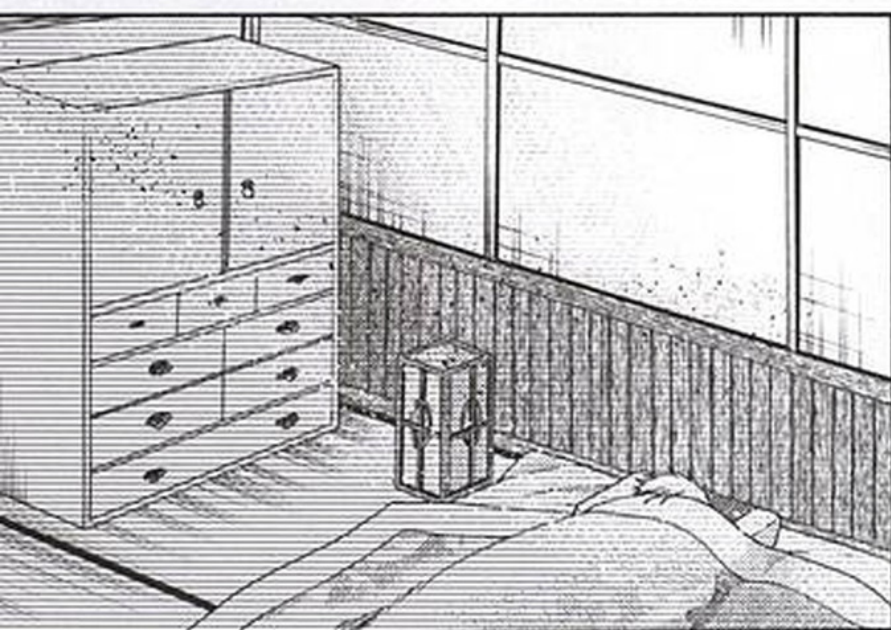
はあ……

どれ、
見舞いに
行ってやるか

おお!
それは鳴狐も
喜びまする!

じゃあ
俺も……

良いか





起きて
おったか。



私にも
覚えが
あるし

対処法も
知っておる



案ずるな



体が火照るの
じやろう？

ヒクッ





子供かど
思っでおったか



はっ

は

存外
可愛い声で鳴く……



ててて



もう具合は
良いのか

いやはや
小狐丸様
お陰に
ございます



小狐丸様！



礼は

ありがとう
ございます



お主の口から
直接聞きたいのお

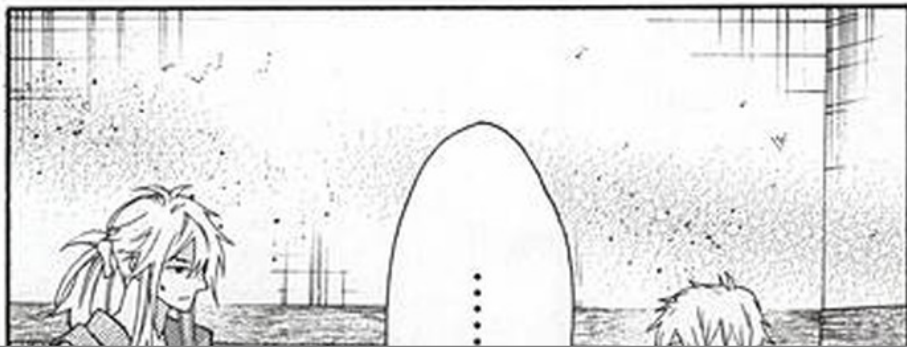
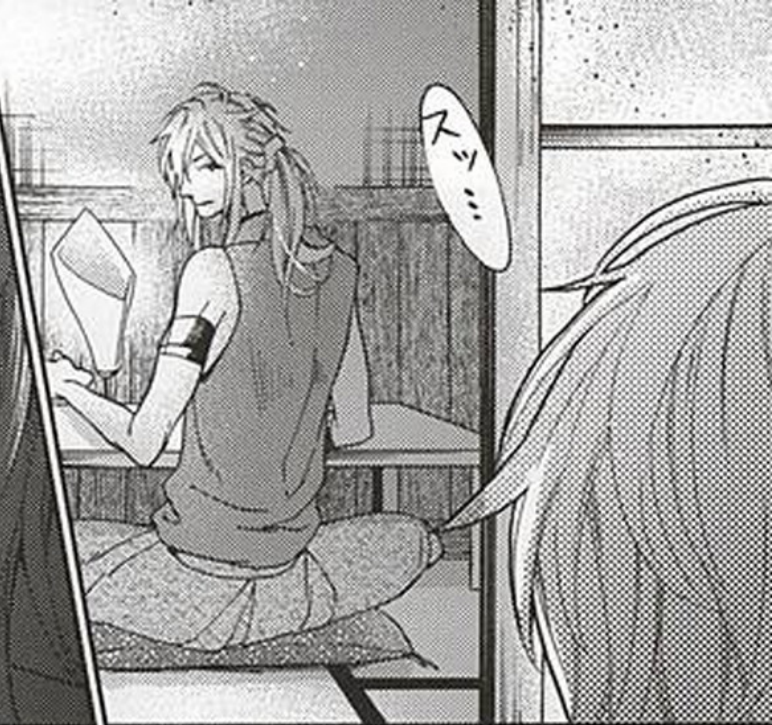
ちよん



昨日はあんなに
愛らしい声で
鳴いたというに…

気に入らん











こんな子供の
発情に
当てられるとは…

その顔が
乱れる様を
見たくなった

もっと鳴かせて
みたくなった

顔を
見せる

いっ……!

や…

もっと声を
聞かせる

狭い

もっと力を
抜け

許して…



ああ…



これでは獣と
同じではないか…







すまなかった

もう
無理強いはせん

初めての発情で
怖かったな

心配せずとも
それは夏になれば
治まる



ほんと…？

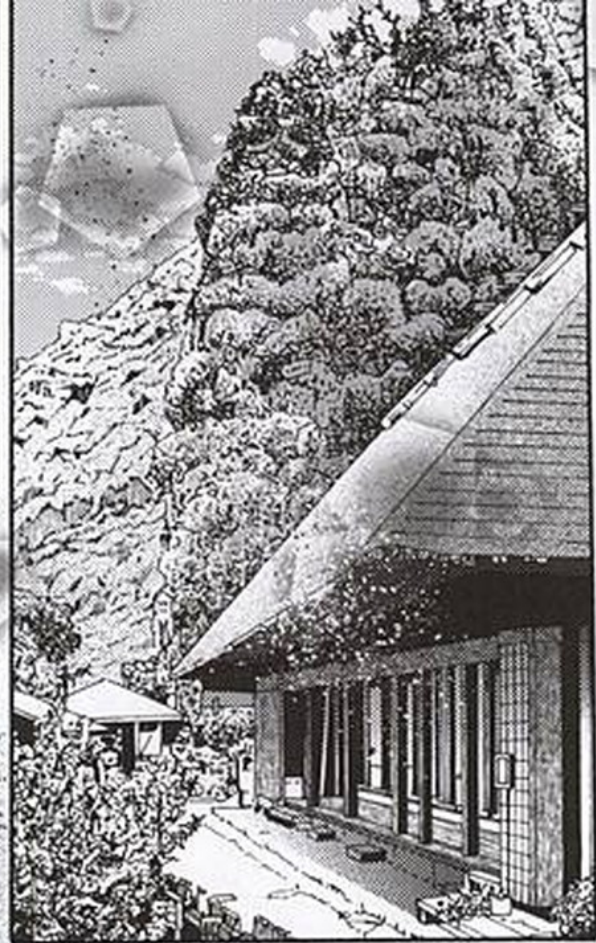


ああ

だから
それまで



辛くなったら
私を頼れ



おお?



あの時の
猫か



私も

見習わねばな



そうか

お前らは
想い合って
いたのじゃな。

鳴狐……！

お姉さま！
小狐九様！！



POKELAICHIGO
TOUKENRANBU

#1

